

2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時: 2018年7月17日(火)18:00~19:25

場所: 聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議長: 片岡 弥恵子(委員長)

出席委員: 片岡 弥恵子、鶴若 麻理、小野 若菜子、小林 京子、縄 秀志、高橋 奈津子、松井 陽、青木 美紀子、
大久保 暢子、川上 千春、中山 昌明、中村 めぐみ、鐘ヶ江 眞知恵、神里 彩子

欠席委員: 墨岡 亮

(出席者 14人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)

① 中島 薫 (放送大学大学院 修士)

「大学生の海外経験による自己の認識変容を促進する効果的なメタ認知支援の方法について」

研究責任者(中島氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項:継続審査について

① 審査番号 15-A034:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「慢性疾患在宅療養者のヘルスリテラシーを向上する患者参加型テレナーシングシステムの開発と混合研究法による評価」

② 審査番号 16-A037:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」精神科訪問看護におけるケアマネジメントに関する研究」

③ 審査番号 16-A039:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「看護学の質的研究論文査読ガイドラインと査読者教育プログラムの開発」

④ 審査番号 16-A057:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」

⑤ 審査番号 16-A061:小林 京子 (小児看護学 教授)

「小児脳腫瘍経験者の認知機能障害に伴う日常生活と学校生活困難に対する支援構築」

⑥ 審査番号 16-A079:亀井 智子 (老年看護学 教授)

「慢性疾患在宅療養者のヘルスリテラシーを向上する患者参加型テレナーシングシステムの開発と混合研究法による評価」

⑦ 審査番号 16-A084:大田 えりか (国際看護学 教授)

「訪問看護を利用している小児の実数調査」

⑧ 審査番号 17-A004:鎌田 希 (助産学 博士)

「妊娠期の女性が初めて乳児とふれ合うことによる生理学的・心理学的変化」

⑨ 審査番号 17-A009:沢口 恵 (小児看護学 助教)

「小児看護学における患者安全教育の取り組み」

- ⑩ 審査番号 17-A010:麻原 きよみ (公衆衛生看護学 教授)
「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-デルファイ調査-」
- ⑪ 審査番号 17-A011:堀内 成子 (助産学 教授)
「看護学というセカンドキャリア形成に関する教育・学習評価のコホート調査 -学士3年次編入制度と学士2年次編入制度の比較-」
- ⑫ 審査番号 17-A019:亀井 智子 (老年看護学 教授)
「多世代交流型デイプログラム参加者に関する混合研究方を用いた心身社会的変化の長期的評価」
- ⑬ 審査番号 17-A039:萱間 真美 (精神看護学 教授)
「精神科重症患者早期集中支援管理料算定におけるニーズ調査」
- ⑭ 審査番号 17-A069:亀井 智子 (老年看護学 教授)
「聖路加国際大学大学院修士課程特別講義「チームビルディング」履修者におけるアドベンチャーリーダーシッププログラム参加前後のチームビルディング意識の変化とチームアプローチ評価尺度の開発」
- ⑮ 審査番号 17-A082:麻原 きよみ (公衆衛生看護学 教授)
「保健師の基礎・現任教育のための体系的かつ実効性のある放射線モデルの構築と検証:放射線教育プログラムの試行と評価」
- ⑯ 審査番号 17-A094:麻原 きよみ (公衆衛生看護学 教授)
「地域特性に応じた保健活動推進 ガイドラインの開発-地区活動実態調査-」
- ⑰ 審査番号 17-A095:福島 鏡 (精神看護学 助教)
「難治性統合失調症患者に対する訪問看護のケア内容調査」
- ⑱ 審査番号 17-A103:田中 利枝 (助産学 博士)
「早産児を出産した母親への Early Essential 搾乳ケアに関する看護者向け教育プログラムの効果」
- ⑲ 審査番号 17-A104:永井 智子 (公衆衛生看護学 助教)
「低出生体重児の家族支援のための保健師教育プログラムの開発-教育プログラムの試行と評価-」
- ⑳ 審査番号 17-A106:麻原 きよみ (公衆衛生看護学 教授)
「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 -保健活動ツール(地区活動カルテ)の試行と評価-」

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により承認、となった。

3. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
18-A010	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中高齢者の退院先選択のための意思決定ガイドに関するランダム化比較試験:意思決定の葛藤と参加への効果	看護情報学	博士	青木 頼子
18-A009	妊娠・出産に対する態度と胎児ボンディングの関連性における縦断的研究	助産学	修士	山田 路子

18-A011	新卒訪問看護師のプリセプターが持つ支援ニーズに関する研究	在宅看護学	助教	佐藤 直子
18-A014	学修の過程で看護を学ぶことの「面白さ」を感じた経験	看護教育学	修士	紀ノ岡 浩美
18-A016	手術室の夜間勤務体制と手術室看護師の疲労・睡眠との関係	看護管理学	修士	前田 浩
18-A017	精神科看護師がストレングスマッピングシートを用いて当事者の夢や関心を知る体験	精神看護学	修士	佐々木 美麗
18-A018	地域の遺伝相談事業に関する住民のニーズおよび臨床遺伝専門医のかかわり	遺伝看護学	修士	大西 涼子

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	16-A061	小児脳腫瘍経験者の認知機能障害に伴う日常生活と学校生活困難に対する支援構築	小児看護学	教授	小林 京子
変更申請	17-A083	退院後の切迫早産妊婦への助産師による訪問看護の実施可能性評価	助産学	教授	片岡 弥恵子
変更申請	17-A086	看護師が患者を持ち上げる・抱えるケアの実際と腰痛等の発生に関する調査	看護教育学	教授	奥 裕美
変更申請	18-A010	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中高齢者の退院先選択のための意思決定ガイドに関するクラスターランダム化比較試験:意思決定の葛藤と参加への効果	看護情報学	博士	青木 頼子
変更申請	18-A013	女子大学生に対する子宮頸がん・検診教育プログラムの作成と評価	ウイメンズヘルス	博士	鈴木 絵里
終了報告	16-A010	「シェアード・ディシジョン・メイキングに基づく日本の臨床試験説明文書の評価と、臨床試験関係者から見た意思決定プロセスの現状」 The evaluation of the Informed Consent Forms for Japanese clinical trials Based on Shared Decision Making , and the Present Conditions of Decision Making Process from Stakeholder's View .	看護情報学	修士	藤田 美保
終了報告	16-A024	高齢者本人と家族の意向を尊重した療養場所選択のための意思決定支援ガイドの開発	看護情報学	博士	青木 頼子
終了報告	16-A028	健康相談における「承認」の概念の妥当性の検証	基礎看護学		印東 桂子
終了報告	16-A078	不妊治療後の妊産婦に対する助産師の倫理的実践と関連要因	ウイメンズヘルス	博士	青柳 優子
終了報告	16-A082	乳幼児を育てる就労女性への産業看護職の支援	公衆衛生看護学	修士	大藪 菜穂子
終了報告	16-A086	精神看護専門看護師の対人援助職に対する支援に関する研究	精神看護学	博士	大橋 明子
終了報告	16-A091	「高齢者におけるヘルスリテラシーの習得プロセスおよび情報源・サポート資源との関連について」 The process of acquiring health literacy, and correlation between health literacy and health support sources among elderly people	看護情報学	修士	高橋 勇太

終了報告	16-A095	独居高齢者へのアドバンスケアプランニングのプロセスと具体的支援—訪問看護師が高齢者へ意向確認するタイミングの分析を通して	生命倫理	准教授	鶴若 麻理
終了報告	17-A002	早産児の母親への産後早期の母乳育児支援に関する実情と課題	助産学	博士	田中 利枝
終了報告	17-A004	妊娠期の女性が初めて乳児とふれ合うことによる生理学的・心理学的変化	助産学	博士	鎌田 希
終了報告	17-A014	<老成学>の視点から高齢者の生き方に関する調査:新老人の会会員へのアンケートを通して	生命倫理	准教授	鶴若 麻理
終了報告	17-A017	認知行動理論に基づく周産期喪失のケアにおけるコミュニケーションスキルプログラム:看護師を対象としたランダム化比較試験	助産学	助教	蛭田 明子
終了報告	17-A018	脳卒中による片麻痺のある独居高齢者が退院後の排泄動作を獲得するまでのプロセス	在宅看護学	修士	田中 悠夏
終了報告	17-A035	看護大学における養護教諭養成教育を通して得た学び	成人看護学	助教	三森 寧子
終了報告	17-A046	病院でのアドバンスケアプランニングのプロセスと具体的支援—医師および看護師が高齢患者へ意向確認するタイミングの分析を通して	生命倫理	准教授	鶴若 麻理
終了報告	17-A048	妊娠中に胎児が予後不良とわかり、子どもを失った母親の語り～看護師との関わりに焦点をあてて～	助産学	修士	濱津 いよ
終了報告	17-A050	インドネシア助産師の妊婦の文化的・社会的背景への理解と関係性の築き方	助産学	助教	飯田 真理子
終了報告	17-A051	保健医療従事者の予防接種に対する意識調査:Vaccine hesitancy の職種間の相違の検証	他大学	助教	齊藤 あや
終了報告	17-A066	助産院における妊娠期からのパートナーシップへの支援の実態調査	助産学	修士	小島 悠美
終了報告	17-A076	訪問看護事業所が新卒看護師を採用・育成するための教育体制に関する調査研究	在宅看護学	教授	山田 雅子

5. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員長より、6月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。
- ③ 委員長より、研究データの保管方法について連絡があった。

6. 研究倫理審査委員向け研修

REC EDUCATION の「テーマ2:倫理審査のポイント」を受講した。

7. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2018年8月21日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。